

7. 広報・出版

7.1 出版物

7.1.1 防災研究所における出版活動

防災研究所において出版を担う組織として、所内に設置された広報国際委員会とその下部組織である広報・出版専門委員会がその任に当たっている。そして、広報出版企画室が、広報国際委員会および広報・出版専門委員会のもとで企画・製作の実務を担っている。

防災研究所が発行する定期刊行物には「京都大学防災研究所 年報」「DPRI Newsletter」、そしてその他の不定期な刊行物がある。以下それらについて記す。

7.1.2 京都大学防災研究所 年報

「京都大学防災研究所 年報」(以下、年報)は、当該年度における防災研究所の活動および研究成果をまとめた刊行物であり、毎年10月に刊行している。年報の内容は「年報A」と「年報B」に大別される。「年報A」には、当該年度における本研究所の活動状況を掲載している。具体的には、退職教員の最終講義録と業績リスト、当該年度における主要な自然災害に関する特別寄稿、当該年度における組織と人員配置などである。「年報B」には、当該年度の研究発表講演会での発表内容を含む、本研究所における研究論文、調査資料を掲載している。第57号(平成25年度版・2014年刊行)、第58号(平成26年度版・2015年刊行)、第59号(平成27年度版・2016年刊行)には、それぞれ58件、58件、53件の研究論文が掲載されている。

年報は、防災研究所ホームページおよび京都大学学術情報レポジトリ KURENAI にバックナンバーを公開し、著者名、論文名その他、キーワードによる検索も可能となっている。物理的形態としては、第55号から従来の紙の冊子に代わって、論文PDFを収録したCDによる刊行を行っている。CD版は当研究所の教員および研究担当者などに配布されるほか、研究機関などに約400部を寄贈し、研究成果の普及に努めている。

年報は、本研究所の創設以来、本研究所における研究成果公表の任にあたってきた。その一方で国内外の学術誌への投稿によって研究成果の公表を行うケースが年々増加している。年報の果たす役割については将来的に再定義を行う必要があると言えよう。

7.1.3 DPRI Newsletter

防災研究所全体の活動や研究成果を、一般や中高生など専門外の読者に向けて発信するため、1995年2月から広報誌「DPRI Newsletter」を年4回発行している。平成26～28年度には、No.72～83を刊行した。No.75(2015年2月号)からは誌面デザインをリニューアルした。

毎号、特集を設定して、自然災害の調査報告、大型研究プロジェクトや国際共同研究などを取り上げている。また「ぼうさいQ&A」、「若手研究者から」、「卒業生から」などの連載記事、諸行事についての行事報告、教職員および学生の受賞、新スタッフ紹介、人事異動など、防災研究所の研究活動諸般についての紹介に努めている。

刊行形態としては、来客・見学者・イベント来場者などへの配布上の便宜を考慮して紙の冊子による刊行(A4判12ページまたは16ページ、2500部、和文)をメインに据えているが、バックナンバーPDFはすべて防災研究所ホームページから閲覧可能である。

7.1.4 その他の刊行物

以上の定期刊行物に加えて、不定期刊行物のうち主なとして「京都大学防災研究所 要覧」(以下、要覧)がある(A4判52ページ、和・英併記)。防災研究所の組織と活動内容を紹介する冊子で、組織構成、部門センターの活動状況、構成員などを掲載し、来客や見学者へ配布している。なお、平成28年度から要覧の年刊化に向けて準備を開始している。また、要覧のダイジェスト版という位置づけで、A4判8ページ観音開きのミニパンフレ

ットも刊行している. これらの刊行物の最新版は,
ホームページに PDF を掲載している.

その他, 防災研究所ホームページの「出版物」
ページ(<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/publications/>)
には, 「施設見学のしおり」(2017 年 3 月刊) など
小規模な刊行物の PDF 版や, 広報国際委員会以外
の部署によって発行された年史や各種評価報告書
などの刊行物を, 合わせて掲載している.

7.2 ホームページ

7.2.1 防災研究所ホームページ

京都大学防災研究所ホームページ (<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>) は、1996 年に開設された。以来、ホームページは即時の情報発信が可能なこと、広範囲な情報・過去にわたる情報を網羅するアーカイブ性、どこからでもアクセスが容易といった特性により広報活動の主要な媒体であり続けている。

ホームページには、組織概要や各研究部門の案内などの研究所紹介、減災社会プロジェクト、グローバル生存学大学院連携プログラム、SATPRES プロジェクトなど、防災研究所が中心となって実施している研究プロジェクト、および、世界防災研究所連合 (GADRI)、自然災害研究協議会など、防災研究所が中心となって推進している国内外の研究機関（研究者）ネットワークの紹介、防災研究所フォーラムや公開講座、研究所公開などの一般向けの行事予定の掲載と紹介、共同研究の募集、防災研究所年報、DPRI Newsletter、自己点検評価報告書、外部評価報告書、国際交流、教員の公募案内など多岐にわたる情報を発信している。

このようなホームページの重要性から、平成 27 年度にホームページの全面的なリニューアルを行った。①研究所概要、②組織・メンバー、③研究活動、④教育活動、⑤ニュース・イベント・資料の 5 つをメインメニューとして、スライダー、ニューストピックス、イベント情報、募集のお知らせ、等をトップページに配した。また、CMS を導入して更新作業が簡便にできるようにし、検索機能の強化、ニュース・イベント等の一覧表示やイベントのカレンダー表示機能を追加するなど、デザインを改善してユーザビリティを向上させ、情報をより見つけやすいようにした。

同じく平成 27 年度には、本研究所の研究者たちが自らの研究について簡潔に紹介する特設サイト「わたしたちはこんな研究をしています」(<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/SpecialHP/>) を開設した。この特設サイトのコンテンツは、ホームペー

ジの閲覧者に立ち寄ってもらうのはもちろん、本研究所の研究内容をインタラクティブに一覧できる資料としてブース展示などの際にも活用されている。

平成 28 年度には、技術室の協力のもと 4 コママンガ「京大防災研 技術室日記」(<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/publications/manga/>) の連載を開始して、親しみやすい形で研究・教育活動を紹介するコンテンツの充実もはかっている。

なお、「7.1 出版物」で述べたように、防災研究所による出版物は、原則としてすべてホームページでも公開している。

7.2.2 その他の電子的媒体

さらに、ホームページを補完する形でいくつかの電子的媒体を運営しており、以下にそれらについて記す。

京都大学防災研究所 Facebook ページ (<https://www.facebook.com/DPRI.Kyoto.Univ>) 平成 25 年度の開設以来、ホームページを補完する形で購読者へ向けたプッシュ型情報発信が可能になった。主な掲載内容は、ホームページの新規掲載記事の紹介、防災研究所教職員の活動が紹介されたウェブ上のニュース記事等のシェアなどである。

京都大学防災研究所 Twitter アカウント (<https://twitter.com/dpřitwit>) も設置して、Facebook ページに準じた情報を掲載している。

京都大学防災研究所 Ustream チャンネル (<http://www.ustream.tv/channel/dpri>) 平成 25 年度以降、研究発表講演会のプレナリーおよび公開講座をリアルタイム配信している。

京都大学防災研究所 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCQ22ABWTJkxolMXLAnLKMLQ>) に、上記の Ustream 配信した講演映像などを編集してアップロードし、過去の講演映像をいつでも閲覧可能な形に整備している。

メールマガジン「京都大学防災研究所ニュース」(配信登録ページ <https://dpricon.dpri.kyoto-u.ac.jp/>)

ailmagazine/mailmagazine_user.php) については、平成 26 年度以降、従来の DPRI Newsletter 刊行時に合わせた年 4 回の配信から、ニュースに合わせて随時配信する形に変更した。研究発表講演会や公開講座、宇治キャンパス公開などイベントや、出版物の刊行、ブース出展などを告知している。

これら防災研究所による媒体に加えて京都大学全学の媒体として、京都大学学術情報レポジトリ KURENAI がある。この中に防災研究所のコミュニティページ (<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/26477>) が設置されており、防災研究所発行の Bulletin, 年報, 共同研究, 年史などを閲覧可能である。